

プローチ 1) 「価値と家計の診断簿」の作成

金城学院大家政 今井老映 岐阜大教有 堀田剛吉 静岡大学 村屋勇之
 楊山女学園大家政 山口夕子 金城学院大短大 生川浩子 岐阜女大家政
 岡田照子 名古屋女大短大 加藤恵子 愛商高家田恒子 愛知大短大 白井佳代子

目的 従来の家計簿は、収入と支出の記帳を通して、収支の均衡と経済的効果、長期、短期生活の安定をはかろうとするものであった。しかし、われわれが目的とする経済生活は、単なる経済的効果と安定をねらうだけのものではない。家族、個人が生命を維持していくために実現されなければならないものは一体何かということについて考慮を払い、それが実現されているかどうかを、家計簿を通して把握し、はたしてその家計が適正かつ合理的に行われているかどうか診断をしながら自己実現を進めていくことにある。

今日における人間の生活は多様な価値を求めながら展開されているのであって、実現されようとする価値、目標、基準の種類もいろいろと考えられる。そこで、今回われわれの目的とするところは、かかる視点に立って家庭生活全体の枠組みから実現すべき価値を明らかにし、そこから生活診断指標を導き出すことのできる家計診断簿を作成することにある。

方法および結果 1. 従来の家計簿収集と整理。家計簿の内容分析と検討。家計簿類型の検討。2. 家政の価値、目標の検討。3. 個別家計診断指標の作成。4. 家計費目の設定。以上の方法順序による理論構築の結果、一試案として「価値と家計の診断簿」を作成した。その結果、価値、目標の記入、環境費、運営費の記入等、全く新しい分野の記帳方法を採用した点に成果がみられた。